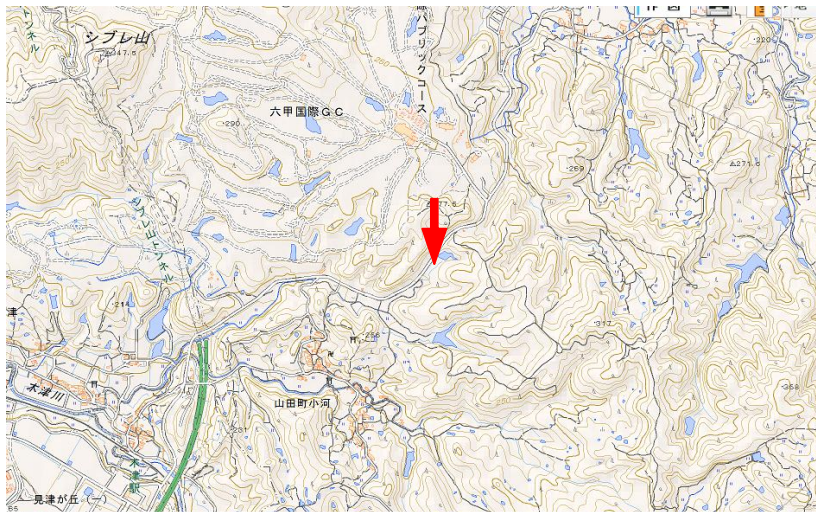


多様な主体の参加による不耕作地の湿地環境への再生利用

不耕作地の湿地環境への再生利用事業は、現在は2～3の市民団体の協力者と職員で、里道整備、水路掘りや水田造成などの作業を実施している。この事業の中で不耕作地の湿地再生の進め方やその効果などを明らかにしていく。

1. 場所

神戸市北区山田町小河字灰床の不耕作地約35a



出典：国土地理院ホームページ
(<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/index.html#zoom=15&lat=34.75084&lon=135.10119&layers=BTTT>)

2. これまでの実施状況

23年	4～5月	土地使用にあたっての手続き及び地元・水利権者への説明
	5月	基盤整備（里道整備、間伐、水田・水路の造成）
	6月	田植え
	7月	(希少種情報のため非公開)
	8月	生物調査
	10月	生物調査
	11月	稲刈、市民向け観察会の開催
24年	3月	生物調査
	6月	田植え、市民向け観察会の開催
	9月	市民向け観察会の開催
	10月	生物調査
25年	3月	生物調査

3. 生物調査結果

秋季（10月）・冬季（3月）に生物調査を実施。事業二年目に入り、確認種の増加する分類群もみられた。しかし初年度に比べ（希少種情報のため非公開）は減少し、（希少種情報のため非公開）は確認できなかった。

確認種数（動物）

		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	その他	合計
秋季	23年度		8	2	4	1	40		55
	24年度		10	2	4	3	32		51
冬季	23年度		12		2				14
	24年度	1	8		1	1	1	1	13

確認種数（植物）

		シダ植物	種子植物				合計
			裸子植物	被子植物		単子葉植物	
				双子葉植物			
				離弁花類	合弁花類		
秋季	23年度	14	2	73	41	25	155
	24年度	19	2	90	54	41	206

確認種のうち希少種および注意すべき外来種（動物）

(希少種情報のため非公開)

確認種のうち希少種および注意すべき外来種（植物）

(希少種情報のため非公開)



平成 24 年 9 月 22 日 市民向け観察会
23 年に 7 月に (希少種情報のため非公開)
を参加者と (希少種情報のため非公開)

4. 今後の進め方

不耕作地の湿地再生作業、ワーキンググループの活動実施を通じて、以下のような検討を進めていきたい。

- ① 神戸市内の不耕作地における「湿地環境としての再生利用」の手法
 - ② 再生利用によって生物多様性がどのくらい向上するか
 - ③ 生物多様性を活かした都市と農村との交流や自然体験の場としての活用方法
- 取組の詳細を、ホームページに掲載

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/environmental/tayosei/denen.html>